

福岡県立宗像中学校の概要について

福岡県立宗像中学校

1 設置の基本理念

「宗像から日本へ、そして世界へ発信」

(1) 育成したい生徒像

自主性と意欲を育み、次世代をリードする資質を身につけさせるとともに、明るく元気でたくましくグローバル社会を生き抜いていける生徒の育成を目指す。

- ① 自分で考え、決定し、積極的に行動する生徒
- ② 高い目標をもち、その実現に向けて努力する生徒
- ③ 自分や他人を大切にし、コミュニケーション能力をもった生徒
- ④ 母校や郷土を愛し、学校や地域のために役に立つことができる生徒
- ⑤ 国際感覚をもち、リーダーシップをとることができる生徒

(2) 学校全体としての特色化

① 豊かな国際性を身につけ、世界へ発信できる教育の推進

生徒が日頃から海外へ関心をもつとともに、異文化に積極的に触れることができるよう、近隣大学の留学生との交流、国内語学研修、海外交流研修等を取り入れ、グローバルな視野をもって世界で活躍できる実践力を育成する。

② 地域の産業や歴史・伝統を体験し、地域に貢献できる教育の推進

総合的な学習の時間や宿泊体験学習において、地域の主産業である農業や水産業の現状について学び、体験させる。また、地域の歴史・重要な文化遺産をより深く学習することで、愛着をもって地域に貢献できる実践力を育成する。

③ ICTを積極的に活用し情報社会を主体的に生き抜く教育の推進

パソコンやプロジェクター等を普段の学習の中で活用した教育を推進し、生徒の授業への興味・関心を高めるとともに学力の向上を図る。

また、総合的な学習の時間における調べ学習や発表等においても、それらの機器を活用し情報活用能力の育成を目指す。

④ 人間性豊かで社会を力強く生き抜く教育の推進

道徳や総合的な学習の時間、学校行事等を通じて、社会性やコミュニケーション能力の育成を行いながら、他人と協調し、社会を力強く生き抜くことのできる力を育成する。

⑤ 健全な食生活を営む実践力を身に付ける食育の推進

教科指導や道徳、特別活動等を通して、健全な食生活を営む実践力を身に付けさせ、生命や自然を尊重する精神や感謝の気持ちを醸成する。また、高校段階でも食育を推進し、生涯にわたって心身の健康増進に努める生徒を育成する。

⑥ 中学と高校の連携による発達段階に応じた部活動の推進

部活動において中高で連携し、生徒の状況や発達段階に応じた計画的・組織的な指導を展開し、中学から高校へ円滑に移行させる。